

なぜ今、炭素会計が経営を左右するのか

～脱炭素経営に向けた最初の一歩～

無料
オンライン
セミナー
(Zoom)

- ◆ 脱炭素を取り巻く環境変化
- ◆ 炭素会計が経営を左右する理由とは
- ◆ 最初の一歩として押さえるべきポイントと進め方
- ◆ 会計データから始める炭素会計という選択肢「ココカルテ」

近年、脱炭素への対応は単なる環境活動に留まらず、大手企業との取引継続や金融機関からの評価・資金調達を左右する重要な経営課題となっています。特にサプライチェーン全体での排出量把握が求められる今、炭素会計は企業規模を問わず避けて通れないテーマです。一方で「何から着手すべきか」「専門知識や工数の負担が重い」といった悩みから、検討が停滞しているケースも少なくありません。本セミナーでは、脱炭素経営を始めるための視点や進め方を分かりやすく解説します。また、最初の一歩として、会計データを活用し手軽に炭素会計を始められる「ココカルテ」をご紹介します。脱炭素を「攻め」の経営に変えるヒントとしてお役立てください。

開催日時

2026年2月24日(火)15:00～16:00

※ 講演時間は約60分を予定しております

お申し込み期限

2026年2月20日(金)17:00

参加費

無料

講 師



SCSK株式会社 GXセンター CN事業推進部 マネージャー
環境省認定制度 脱炭素アドバイザーアドバンスト

花熊 克昌 (はなくま よしあき)

1998年CSK(現SCSK)入社。製造業、流通業、通信業など、幅広い業界の基幹システム、業務アプリケーションに関する提案営業、システム開発に従事。企業のDX戦略・事業推進のマネジメント業務を経て、会計データを活用したCO2排出量算定システム「ココカルテ」の開発をリード。脱炭素社会の実現に向けて、中堅・中小企業に寄り添った社会課題解決を事業領域としている。

詳細・お申し込み

https://form.k3r.jp/ht_tax/260224

